

泊小学校通学区域変更の地域説明会(報告)

1 経過

- 平成22年 9月 6日(月) 泊小学校通学区域変更について教育委員会会議の議決
7日(火) 泊小通学区域変更について教育委員会のホームページへ掲載
12日(日) 沖縄タイムスが泊小学校通学区域変更についての記事を掲載
17日(金) 保護者へ案内文配布(学校を通して配布)
21日(火) 地域住民へ案内文配布(戸別配布)
10月 2日(土) 琉球新報が泊小学校通学区域変更についての記事を掲載
4日(月) 泊小学校通学区域変更の説明会(1回目)
7日(木) 泊小学校通学区域変更の説明会(2回目)
14日(木) 保護者、地域住民へ案内文配布(戸別配布)
21日(木) 泊小学校通学区域変更の説明会(3回目・追加)

2 地域説明会の概要

- (1)日時 : 平成22年10月 4日(月)19時10分~20時30分(参加者:31名)
7日(木)19時10分~20時45分(参加者:25名)
21日(木)19時10分~20時55分(参加者:10名)

(2)場所 : 泊小学校多目的室

(3)教育委員会からの出席者

(学校教育部)

盛島部長、屋良副部長、吉野学校教育課長、森田学務課長、田端主幹、安次嶺主査

(生涯学習部)

新城部長、佐久川副部長、東恩納総務課長、仲程総務課副参事、

(4)主な意見や質問

- ・泊小学校へは安全に通学できるが、壺屋小学校へは横断歩道を何回も渡るため安全面に問題がある。
- ・壺屋地域と泊地域は地域性が違うのに、通学区域を設定するときはそれを考慮しないのか。
- ・なぜ、前回の計画と違って、今回は通学区域変更地域からおもろまち1丁目と字安里91番地1を除いたのか。おもろまち1丁目も通学区域変更地域にしたら、泊小学校と壺屋小学校にとってさらによりよい適正規模校になるのではないのか。
- ・もともと住んでいる安里地域の人たちの通学区域を変更するのではなく、後から移り住んでくるおもろまち1丁目を通学区域変更地域にするべきではないのか。
- ・教育委員会が壺屋小学校の児童数を増やすために、特色ある学校にする等、考えていることがあるのか。
- ・学校区の問題、まちづくりの問題について、各部署でどんな連携を取り、計画をたてているのか。
- ・泊小学校の通学区域を前島小学校に変更すれば、安全な通学路が確保できるのに、なぜ前島小学

校に通学区域を変更しないのか。

・泊小学校の児童数及び学級数の推計が、当初計画(平成 19 年度の計画)と今回の計画ではかなり児童数に違いがあるのはなぜか。

・基本方針の中に理解を得て通学区域の変更をするようにとあるが、反対している住民がいるのに実施するのか。

・経過措置で、兄弟が泊小学校に在学している新1年生については、希望すれば泊小学校に入学することを認めています。卒業した兄弟がいる場合でも認めていいのではないか。

・この説明会で質問してもそれが反映することはないのか。

3 まとめ

当初2回の予定で地域説明会を行いました。参加者から2回の説明では不十分と要望がありましたので、地域説明会を1回追加して3回説明会を行いました。

新聞報道や約1300世帯の地域住民及び約750名のPTA会員に通知した結果、住民説明会は参加者1回目 31名、2回目 25名、3回目 10名で行いました。その中で反対はありましたが、おおむね理解が得られたと判断しています。

よって、子どもたちにとってよりよい学習環境を整備し教育効果を高めるため、泊小学校と壺屋小学校の適正規模に向けた泊小学校通学区域変更を平成 24 年度から予定どおり実施いたします。